

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所内事務所やフロアに介護理念を張り出している			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議を2か月に1回開催し、地域の方との情報共有に努めている。また、地域ボランティアに来ていただいている	先日カルチャークラブという地元の方々のグループに踊りや三味線等の慰問に来ていただいた。そのような地元の情報は回覧板で届く広報で把握する、と施設さんより聞く。近々公民館フェスティバルが行われ、保育園児の踊りやどんどん焼きなどの催し物がある。公民館はスロープや障がい者用のトイレなど設備も整っている、と民生委員さんからお話があり、参加したいと施設さんからの発言がありました。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議にて利用者サービス状況について話し合いをしている	運営推進会議では利用者の平均介護度や入退居、事故などの報告を行なっていると施設さんより発言があった。民生委員さんは会議内では必ず事故のことや研修等の報告を聞いて、細かく報告されているな、感染の研修時期などタイムリーな研修を開催されているな、という印象がある、と言われていた。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議に市町村の担当者に参加して頂いている	運営推進会議には市の担当者が出席されるので、周辺の事業所の情報など聞いている。また市が主催の講演会でグループホームの活動報告の依頼があったり、小学生の介護体験で認知症のお話をしてほしいと依頼があり引き受けてもいる、と施設さんから発言あり。民生委員さんから離設された際に施設側が相談できる場所やネットワークがあるのか、と聞かれ、市への報告をしつつ、離設時等のマニュアルを施設で作成し対応している、と回答されていた。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束廃止のためのマニュアル作成と定期的に勉強会を開催をし職員の理解を深めている		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束適正化の指針を整備され、勉強会等の開催もされている。現場でスピーチロックが多いのではという懸念からスタッフにアンケートを実施し、その結果をもとに社内勉強会を開催した。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	マニュアルを作成し定期的な勉強会を開いている		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止の指針を整備されており、社内研修も行われている。不適切ケアに対しても気をつけており、ふさわしくない声かけが聞かれたときにはその都度注意するようにしている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活自立支援制度については学ぶ機会が少ない			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約の締結時に家族の意見を徴収し、疑問点についてしっかり説明している			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族の面会時に要望等を聴くようにしている		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	面会時に家族からの意見をいただくことがほとんどである。感染予防のため一度の面会の人数を決めていたが、人数を増やして欲しいという要望があり、人数制限の見直しを行った。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年に二回職員ヒアリングを実施し職員からの意見を聴く機会を作っている			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年に二回ヒアリングの施行と自己評価表を作成し、それを基に評価している		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年に2回、人事考課の面談を行っており、就業環境について相談できる機会を作っている。家庭の事情で夜勤回数を調整したり、夜勤中の仮眠できる環境を整えるなど就業環境の整備に取り組まれている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月会社内の勉強会や外部研修に職員を派遣している		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	スタッフは積極的に外部研修に参加してもらい、その都度他のスタッフに伝達講習を行なっている。自社の勉強会も合同で2ヶ月に一度開催され、スタッフが学べる環境を作っている。新人職員には毎日必ず担当の先輩スタッフを決め、レクチャーしてもらったり、すぐに聞いたりできるようにしている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	月1回の管理者会議に外部の同業者に来ていただいたり、介事連の総会等に参加して外部業者との交流を深めている			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	おやつ作りやレクリエーションを通じてお互いの関係を築いている			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	面会や外出にて家族など馴染の人たちとの関係を継続している	お盆や正月など自宅で過ごす方や毎年年賀状が届いていたり馴染みの人とのつながりがある、と施設さんより話があった。民生委員さんは地元生地の花火やえびす祭りなど地域のイベントに触れ、夜なのでなかなか参加は難しいのかな、と発言あり。黒部の恒例行事であるじんじん祭りには毎年利用者と行ってます、と施設さんより話があった。		

## Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族の希望や意向を徴収してケアをしている			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族の意向を確認し、それを基に介護計画を作成している	介護サービス利用していた母のことを民生委員さんが話される。家族の知らないサービス中の様子や細やかなケアをされている様子をケアマネさんから聞いていた、と。そんな自身の経験から利用者が話した言葉そのままをプランに入れると心に響くと思うとのこと。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者に直接希望を聞いたり、家族から電話や面会時に意向を聞いている。それをもとに職員ミーティングで話し合いケアプランを作成されている。転倒を繰り返していた利用者が踏み台昇降の運動を行うことになったり、閉じこもりがちな利用者が編み物をやっていたりなど、希望や意向に沿ったプランになった例がある。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電子媒体を使用し日々の記録を残し、職員間で情報共有している		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	タブレットで記録を作成されており日誌や申し送りノートで共有している。勤務する人数分のタブレット台数があるので、いつでも記録を確認できる環境にある。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別の嗜好品を購入し、対応している	地域や自分のゆくゆくを考えるためでもあるが、見学会を開催することもよいと思う、と民生委員さんが言われる。介護サービスも多様な種類があり、敷地内だけでも複数の介護サービスを行っていて、そのの違いを知ってもらう機会を作ってもよいと思う、と施設さんより意見があった。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域資源の把握が足りていない	じんじん祭りには毎年参加しているが、もっと地域のいろんな資源を把握したい、と施設さんが言われる。改めて山も見える、海も見える、田んぼの移ろいも感じられるこの場所自体もいいところであり資源であると思う。また地域のボランティアさんという資源に依頼してもよいのではないか、と民生委員さんより発言があった。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時にかかりつけ医を変更することなくかかりつけ医の受診を継続し、看護師から日々の状況を家族と医師に伝えている			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	退去時情報提供書を医療機関に提供し、退院に向け病院とこまめに連絡を取っている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者が入院された際は地域連携室に必ず情報提供書を送り、日常の状況を伝えている。退院前には必ず面会に行き、入院前と状態が変わっていないか確認の上で退院いただいている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に書面にて重度化指針について説明しているが、最近では重度化したケースはない		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看とりできる体制を整えており、3年前に看とり対応を行った。施設での看とりを希望するターミナル期の方がいる際は、看護師が看とり研修を行い、スタッフに看とりについて伝えている。



24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時の対応やマニュアルの作成、AED の勉強会を行っている			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災、水害時の避難訓練を定期的実施している	備蓄品は準備されているのか、と民生委員さんから質問がある。備蓄品の準備ができている、と施設より回答があった。業務継続計画も作り変えられているし、備蓄品もあるし、良いと思う、と民生委員さんが感想を述べられていた。もともと湿地帯であることや海拔のことも述べられていた。	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一昨年の地震ではとにかく車で避難し、連携が取れてなかったのを、それを地震後の運営推進会議で地域の方にも協力を依頼した。地域の避難訓練にも参加を検討している。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員間で日々お互い声をかけ意識し、定期的な勉強会にて認知症に対する理解を深めている		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症の社内勉強会の中で尊厳に関しての内容にも触れ、職員に尊厳についてレクチャーしている。利用者のことは下の名前ではなく、名字で呼ぶようにして心掛けるなどされている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一日の流れは決まっているが一人一人の体調を考慮し午睡の時間やレクエーションの時間を設けている			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族から本人の好みを聞き取ったり、食事後食器拭きを手伝ってもらっている		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夏場にうなぎなど季節ごとのメニューが組み込まれている。またにいかわ牧場や道の駅で好きなものを食べてきたりもしている。誕生日には希望を聞いて好きなものを食べていただいたり、利用者でお団子を作るなど食事を楽しむための支援を行っている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事量、水分チェック表で日々の摂取状況を把握している栄養状態が下がっている方に関しては、市販の栄養補助食品を提供している			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後の口腔ケアの実施や毎日の義歯消毒を行ない、口腔内の清潔を保持している利用者によっては口腔用のスポンジも使用している		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者各々の状態に合わせて口腔ケアを行なっている。先日は近隣の歯科医に口腔ケアの勉強会を行なってもらい、スタッフで勉強できる機会も作った。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の排泄パターンを把握し、随時トイレへの誘導をしている下剤に頼らず水分摂取を促し、便秘の予防をしている		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	パッドがどのように汚染していたかのアセスメントをとっている。トイレがわかりやすいようトイレのマークを入り口ドアに貼ったり、夜間ポータブルトイレを使用いただいたりなどして自立につなげている。

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴の予定日は決めているが本人の意思を確認し拒否があれば翌日に入浴してもらっている			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中の活動量を増やし、午睡の時間に気を付け昼夜逆転にならないように配慮をしている			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看護師が主となり一人一人の薬情を職員が把握し、何かあれば医師に報告、相談している		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お薬処方の変更があった際は日誌や申し送りノートで職員間の共有を図っている。利用者は訪問薬剤師による居宅療養管理指導を受けており、その際に薬剤師から施設への指導もある。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自発的に参加している利用者には支援できているが、介助を要している利用者には満足に支援が出来ていない	女性の利用者の方が多いので、今まで家でやってきたこと、洗濯物をやってもらうとかして、大いにお礼を伝え、刺激をもってもらおうとか、感情に訴えるのがよいと思います、と民生委員さんの発言あり。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節ごとのドライブや散歩、家族との外出をしてもらっている	春には宮野山にお花見に、入善フラワーロードにチューリップを見に行ったり、この秋に宇奈月に紅葉を楽しみにいくことも考えている、と管理者よりお話があった。また、近隣の散歩や道の駅にも出かけているとのこと。自宅近くに行くのもよいのではないかと民生委員さんから発言があった。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人の預かり金はあるが、本人には現金を所持してもらっていない			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族から手紙が来ることはあるが、利用者から家族に向けての電話や手紙はほとんどない			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内は完全バリアフリー空間になっており、季節ごとの飾りつけをし、心地よい空間づくりに努めている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節ごとの作品を共用空間の壁に飾り、楽しめる環境にある。テレビ前にソファを置いたり、日常音楽を流したりして居心地のよい空間づくりに努めている。

#### IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 充分にできている B. ほぼできている ● C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症があり明確に本人の意向を確認できない			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている ● B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会にて友人関係の繋がりを継続し、入所前にしていた庭作業の代わりに玄関の花の水やりをしている			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	● A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のバイタル測定を行い、体調不良時にはかかりつけ医に情報の提供、受診をお願いしている		● A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	受診情報提供書という独自の書式を作成し、外来時に家族に持参いただき、受診情報を共有している。また体調不良時などは主治医と連携をとり対応できるようにしている。また居室レイアウトを転倒しにくいように考えたりするなど安全面でも対応を行なっている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 充分にできている ● B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	暮らしのシートを基に今までの生活習慣を大事にしている			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室への持ち込むものに制限をせずに馴染みのあるものを居室に置いている		● A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分で書いた絵を飾ったり、お仏壇を持参されるなど、自室をカスタマイズされている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができています	A. 充分にできている B. ほぼできている ● C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望があれば家族に外出の依頼をしているが出来ない事もある	花火と一緒に出かけたいと家族の意向があったが時間的なものなどで実現できなかった、と施設さん。意向に沿ったという項目なので日常的に利用者のことを聞いてあげる、聞き出す努力が大切。家族と協力しながら、最後の1回かもしれない、と思って支援できるとよいと思います、と民生委員さんから発言があった。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 充分にできている ● B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の状態に合わせたレクリエーションや家事作業を提供している			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	A. 充分にできている ● B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員との会話や対利用者との会話を楽しんでいる		● A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一緒にお団子を作ったり、自宅近くをドライブで通ったりすると利用者の口数が増え、各々楽しんでいる様子になる、とのこと。ドライブやおやつ作りなどで楽しさを引き出せている。



48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている	A. 充分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設に地域ボランティアを呼び地域の人々との交流をしている	慰問のボランティアさんなど、先ほど伝えた通り交流できるような時間があった、と施設さんより話があり。これまでの内容で交流できているのがわかります、と民生委員さんからもお話があった。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホームに入ることです整った生活環境で日々を安全に生活している	看護師も常駐しており健康管理を行なったりレクリエーションや機能訓練を通してよりよい日々を送れるようにしています、と管理者さんから発言あり。民生委員さんからはここまでたくさんのお話があったのでよくわかりました、と発言あり。	A. 充分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族からも利用者の笑顔が増えたという感想があるなど、日々利用者の生活がよくなるよう取り組まれている。